


Beam. 取扱説明書

 **Beam.**
Screw it in and have fun.

1. 安全にご使用いただくために

Beamを末永くご愛用いただくために、ご注意いただきたいことがございます。
ご使用いただく前に、以下の安全規則をご確認いただけますようお願い致します。

- Beamを取り付けていない状態で電源コードのコンセントを入れたままにしないで下さい。
- 電源コードをコンセントにさしたままの状態やスイッチを入れた状態でBeamを抜かないで下さい。
- Beamの電源を切る際はON/OFFボタンを2秒間長押しして手動で行うようにして下さい。必ずスクリーン上の指示をご確認後にプラグを抜くようにして下さい。
- 電源プラグを抜く際はコードではなくプラグを持って下さい。
次のような場合には直ちにBeamの電源プラグを抜いて下さい。
 - Beamの上に何かをこぼした場合
 - Beamに水がかかった場合や湿気にさらされた場合
 - Beamを落下させた場合
 - 雷が鳴っている場合
 - Beamから発煙、異様な臭いがした場合

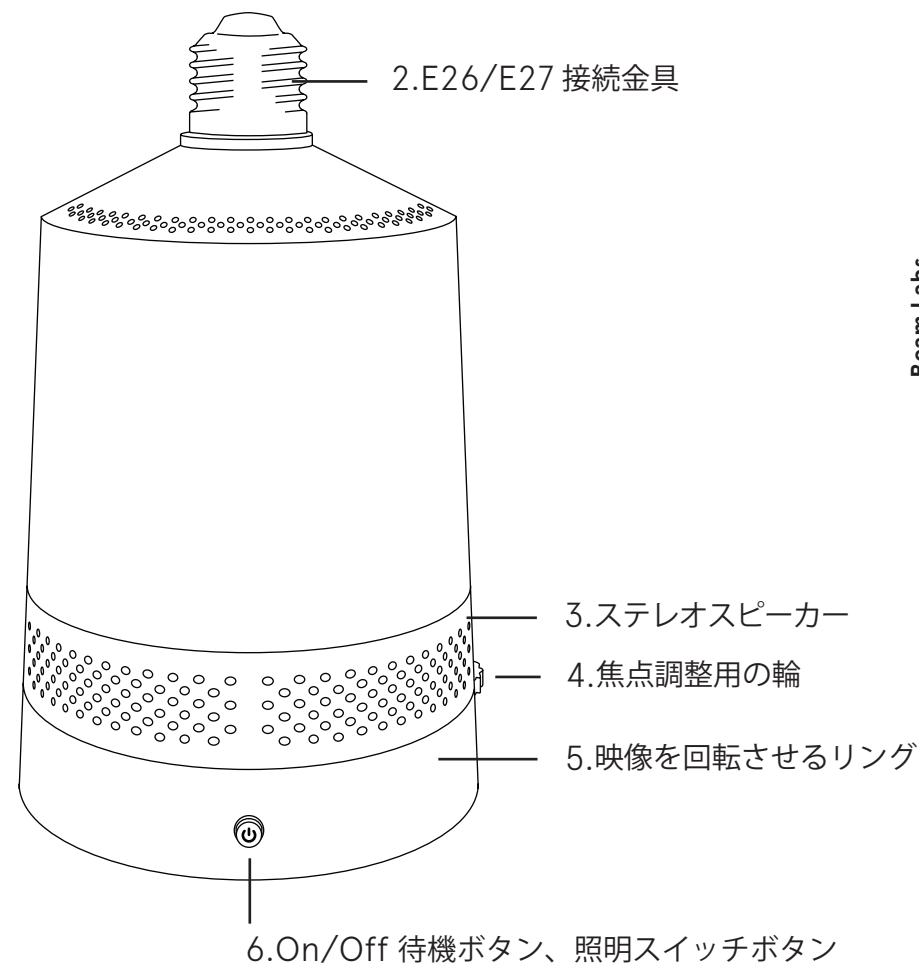
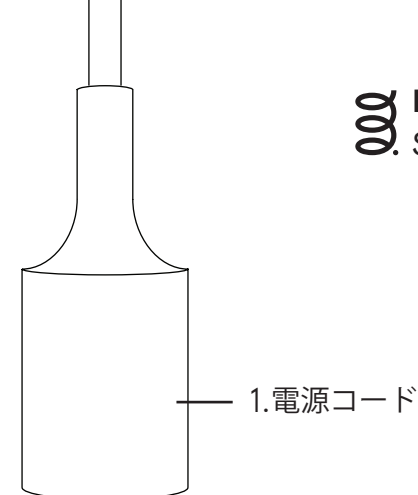
Beamをご使用される前に、取扱説明書/裏面の安全に関する説明書もご覧いただき、事故や誤使用のないようにお願い致します。

以上、ご質問はございませんか？


ご質問、修理、サポートに関してはこちらまでお問合せ願います。

beamlabsinc.com/support

2. Beam 詳細図



Beam. 組み立てる

 **Beam.**
Screw it in and have fun.

開梱する

Beamを開梱しましたか？まだであればお願いします。

差し込む

Beamの接続金具を差し込みます。

—お手持ちのE26/E27 照明ソケットに差し込む場合

まず、照明ソケットのスイッチが切れていることをご確認をお願いします。

Beamをソケットに挿入する前に、ランプ枠内に十分なスペースがあるかをご確認をお願いします。

Beamを取りつける場所には、熱くなった空気を排出できる十分なスペースが確保されていなければなりません。

スペースを確保できないような狭い場所にBeamを取り付けないよう

ご注意ください。

—E26/E27 照明ソケットのついた電源コード (1) に差し込む場合

Beamのコードを壁コンセントもしくはサージ保護装置に接続して下さい。

アプリを入手する

まだ入手していなければアプリを早速ダウンロードしてBeamを操作しましょう。

このアプリは“Beam Remote”と呼ばれるものです。

beamlabsinc.com/apps をご覧いただき、

Beamを操作するアプリを全てチェックしてみましょう。

立ち上げる

後は電源ケーブルを差し込めばBeamが自動的に立ち上がります。

スイッチがあるものであれば何でも、Beamを差し込めば後はスイッチを入れるだけです。Beam (6) のボタンを押す必要はありません。

映像の焦点を合わせる

Beamの焦点を合わせる際にはBeam正面にある小さな輪 (4) を回して、はっきりとした見やすい映像になるまで調整して下さい。

映像を調整する

Beamにあるリング (5) を回転させて、映像の位置を調整できます。

リングは360度回転しませんので、丁寧にお取り扱い下さい。

Beamのアプリを使って映像を180度回転させることが可能です。

モードを切り替える

Beamのボタンでモードを切り替え可能です。

ボタンを押すごとに待機モード、照明モード、映像モード、そして再び待機モードへと変わります。

2秒間長押しすると完全に電源が切れます。

Wifi 設定

後は表示された通りにWifiを設定すれば、これで準備完了です。

以上の作業に関して何か問題がございましたら、

下記の弊社の故障修理サポートまでご連絡お願い致します。


beamlabsinc.com/faqs/setup

個人情報

ネットワークへの接続が完了すると、BeamはローカルIPアドレスをwebサーバーと共有し、www.controlmybeam.com のwebサイトを通じてBeamのコントロールが可能になります。

Beam.

ご使用上の注意 1/2

 **Beam.**
Screw it in and have fun.


注意事項

Beamはそのデザイン、評価においてCE規格における最新の安全基準を満たしています。Beamを末永くご愛用いただき、安全にお使いいただくために、製品本体や説明書に記載されている指示に従っていただけますよう、お願い致します。

- 液体物をBeamに近づけないようにして下さい。飲み物、花瓶や植木鉢、薬品などの液体物はBeamのそばや上には置かないようにして下さい。発火や電気ショック、ケガの恐れがございます。
- Beamに物を入れないで下さい。特にヘアピンやコイン、ナイフなどの金属物や紙やマッチなどの可燃物などは絶対に入れないで下さい。電気ショックや発火を防止するためです。
- Beam本体は開けないようにして下さい。電気ショックの恐れがあります。
- Beam内部の部品はユーザー修理不可能です。
- ご使用中はレンズを直接のぞき込まないようにして下さい。
(写映中でも照明モード中でもです)
明るい光によって目にダメージを与える恐れがございます。
- ガス漏れしている場合は、Beamや壁コンセントに触れないようにし、窓を開けて換気を行って下さい。火花による発火や火傷の恐れがございます。
- 強い磁場を発生する電子機器のそばでのご使用は避けて下さい。
- Beamは高温な場所に非常に弱いため、そのような場所おかないで下さい。発火の恐れがございます。
- Beamの上には何も置かないようにして下さい。Beamの上に物を落としたり、Beam自体を落とすこともないようにして下さい。Beamがダメージを受けたり、人体に危険が及ぶ恐れがございます。
- 特に持ち運ぶ際などには、レンズに衝撃を与えないようにして下さい。プロジェクターのレンズには触れないようお願い致します。レンズを傷つけてしまう恐れがございます。
- 10秒経過してもスクリーンに映像が写らない場合や音が出ない場合は、プロジェクターのご使用を中止して下さい。プロジェクターの電源を切り、壁コンセントからプラグを抜き、弊社サポートチームまでご連絡いただけますようお願い致します。
- スクリーンの対角線の長さの5-7倍以上の距離を置いて見て下さい。長時間スクリーンの近くで見続けると、視力に影響を及ぼす場合がございます。
- 本などを使ってBeamの光線を遮断しないで下さい。
- 長時間プロジェクター光線をあてると発火の恐れがございます。またレンズが反射熱でオーバーヒートしたりダメージを受ける恐れもございます。
- お手入れの際にはBeamに水がかからないようにして下さい。Beam内部に水が入らないようにするため、水がかかるような場所に絶対に持ち込まないようにして下さい。湿気も避けてください。発火や電気ショックの恐れがございます。
- Beamや写映レンズ前部のホコリや汚れを落とす際は、エアスプレーや柔らかい布、湿らせた綿棒をご使用下さい。
- ご不在中に電源を入れたままにしたり、小さなお子様の手の届くところに置いたりすることのないようお願い致します。
- 外出される場合はペットが届かない場所に保管し、コードと電源プラグを壁コンセントから抜いて下さい。

Beam.

ご使用上の注意 2/2

 **Beam.**
Screw it in and have fun.

— 破損した電源コードはご使用しないで下さい。ショートや発火の恐れがございます。

— 高精度電子機器や微弱な電波を発する電子機器のそばでのご使用は避けて下さい。
製品の作動に影響を及ぼす可能性がございます。

— 技術責任者以外によって分解、修理されることは禁じられています。
分析、調整、修理に関しましては、お買い求めになった販売店、
もしくは我々のサービスセンターまでお問合せ願います。

— 適宜換気を行い、Beamのまわりの空気の流れが滞らないようにして下さい。
内部がオーバーヒートして、ケガをする恐れがございます。

— ランプがダメージを受けないように、電源を切った後約3分間は
Beamのプラグを抜かず、十分に冷めるまでお待ちください。

— レンズに触れないようにして下さい。
レンズが焼けたり損傷を受ける場合がございます。
ご使用中、ご使用後はレンズとBeamが熱くなっている場合がございます。
Beamを触る際はご注意ください、十分に冷めるまでお待ちください。

— 正しくご利用いただくためにメンテナンスガイドラインに従って下さい。

— 長時間ご使用されない場合はコンセントを抜いていただけますようお願い致します。
ホコリが積るとオーバーヒートや火花による発火、
そして不十分な絶縁による電気ショックがおこる恐れがございます。

ご注意

本製品から危険な放射光が出る場合があります。
ランプがついているレンズを凝視しないようにして下さい。
失明の恐れがございます。

ご質問

ご質問、修理、サポートに関してはこちらまでお問合せ願います。
beamlabsinc.com/support

www.beamlabsinc.com
support@beamlabsinc.com

